「繋（つなぐ）」ささえあい
すべての世代を「つなぐ」やさしい街に！

神戸市会議員（垂水区）たなびき剛（つよし）

編集・発行：立憲民主党神戸市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

掲載内容のさらに詳しい内容は
立憲民主党神戸市会議員団の
ホームページをご覧ください→

たなびき剛事務所：〒655-0048 神戸市垂水区西舞子 9-15-23　TEL:080-6111-9970　✉ tanatsuyo02@gmail.com

令和４年第２回定例市会９月議会が開会

９月１４日～１０月２５日まで９月議会が開催され、令和３年度決算を中心に議論が行われ、決算特別委員会においては、健康局、福祉局、環境局へ質問しました。

健康局　オミクロン株対応ワクチンの接種について

質　９月 27 日よりオミクロン株対応ワクチンの接種が始まりましたが、すでに接種券をお持ちの方で 3、4 回目の接種がまだの方に対してどのように広報（周知）するのか？

答　オミクロン株対応ワクチンは、1、2 回目の接種が完了した 12 歳以上の方すべてが接種対応となっている。すでに神戸市から接種券が届いている方で 3、4 回目が未接種の方すべてに対して、オミクロン株対応ワクチン接種のお知らせハガキを郵送する。

質　この冬は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行も危惧されているが、神戸市におけるインフルエンザ対策は？

答　定期接種の対象者（65 歳以上）に対して、早期接種を呼びかけるとともに、小児に対しても接種の啓発に努める。また、コロナワクチン、インフルエンザワクチン両ワクチンの接種の促進を図っていく。
［1 歳から 12 歳までの小児については、2,000 円の助成あり］

福祉局　認知症神戸モデル診断助成制度について

質　神戸市では、認知症の人にやさしいまちづくりの推進として、65 歳以上の神戸市民を対象に認知症神戸モデル診断助成制度が実施されている。無料受診券の送付については、対象者のみとなっているが、子や孫の世代にも認知症神戸モデルを周知し、認識してもらうことで、親や祖父母に対して受診を促してもらうための取り組みが必要であると考えるがどうか？

答　認知症神戸モデル診断助成制度の周知については、広報紙 KOBE に掲載するとともにホームページにおいて、若い世代や遠方の家族がアクセスできるよう特設サイトを開設している。なお、特設サイトについては、さらに利用しやすいよう更新している。

認知症神戸モデルとは

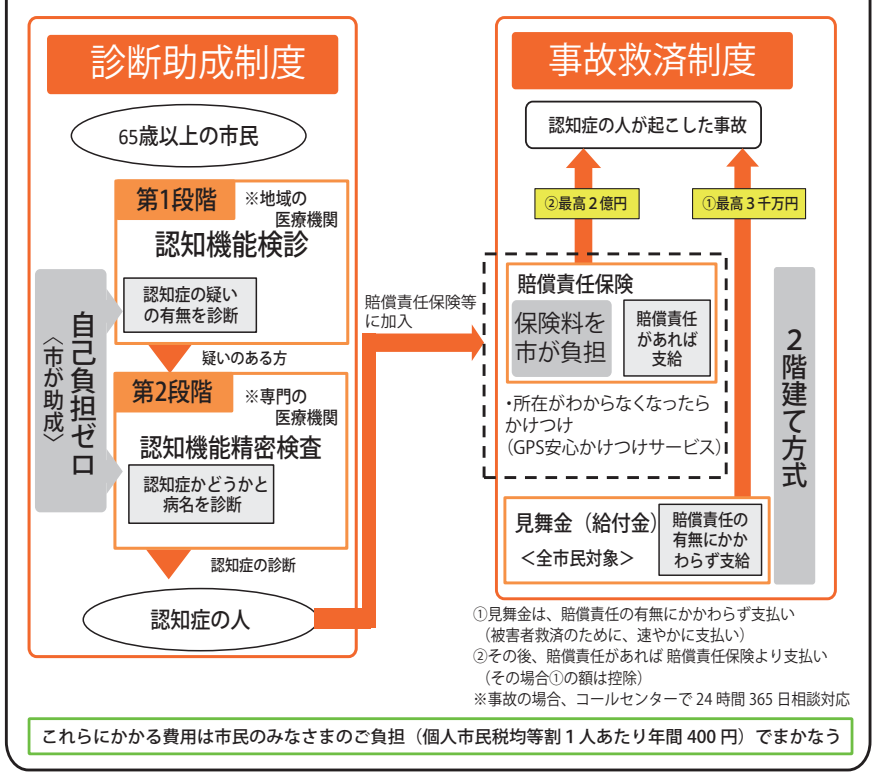
認知症の方やそのご家族が安心・安全に暮らしていけるよう、65 歳以上の神戸市民を対象に早期受診を支援する「診断助成制度」と、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する「事故救済制度」を組み合わせて実施する制度です。

これらにかかる費用は市民のみなさまのご負担（個人市民税均等割の上乗せ１人あたり年間 400 円）でまかなっています。

CHECK!!

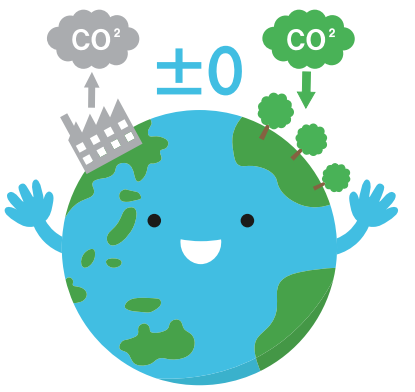
診断助成制度の認知機能検診（第１段階）は、制度開始２年間で約４万人の方が受診、事故救済制度の賠償責任保険には約 6,500 人の方が登録しています（R3.10 月末時点）

認知症神戸モデル＜概要イメージ＞



これらにかかる費用は市民のみなさまのご負担（個人市民税均等割１人あたり年間 400 円）でまかなう

環境局　水素ステーション、資源回収ステーションについて



質　神戸市では、水素スマートシティ神戸構想の推進に向け、２０３０年までに水素ステーションを７基整備する目標がある。来春に市内２か所目の水素ステーションが整備される予定であるが、今後どのように取り組みを進めていくのか？

答　水素ステーションの整備については、現在、神戸港がカーボンニュートラルポート形成に向けた取り組みを進めている状況であり、大規模な水素ステーションの整備が検討されている。また、市内事業者等に対してニーズ調査を行い、兵庫県下の自治体が一体となり、兵庫県水素社会実装を目指す自治体連絡調整会議が立ち上がった。

質　資源回収ステーションについては、回り続けるリサイクルの実現に向けた取り組みとして、長田区のふたば学舎、中央区のコミスタこうべに設置されている。今後、どのように資源回収ステーションを市内に拡大、展開していくのか？

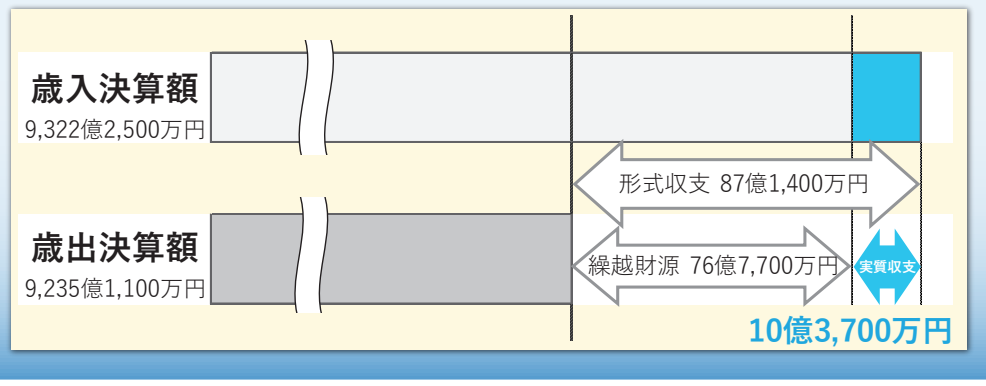
答　資源回収ステーションは、①資源循環の見える化を目的に、②資源物（ペットボトルや容器包装など）を出しやすくするために設置された。現在は、市内２ヶ所での開設であるが、今後は全市展開し、資源回収ステーションの数を増やしていきたい。

一般会計決算の状況

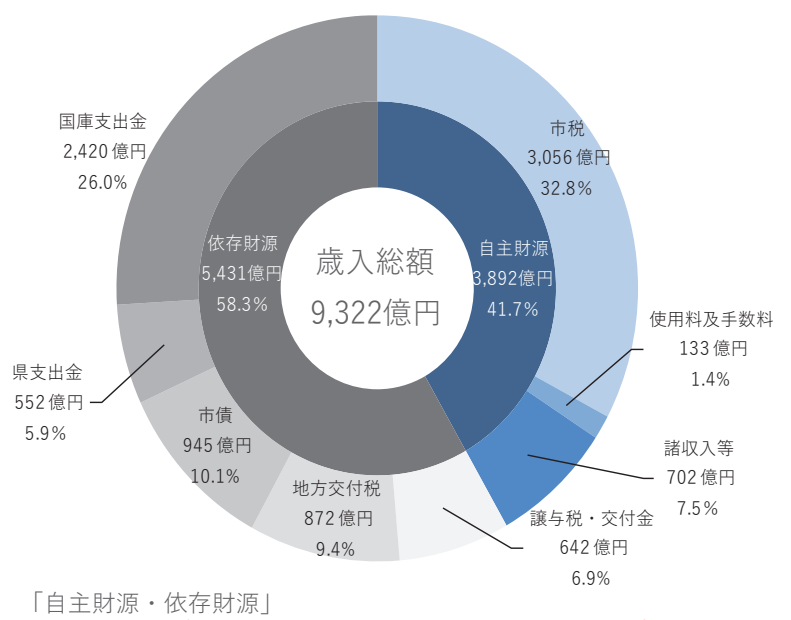
実質収支 10億3,700万円 黒字※令和２年度３億円

社会保障関係費や公債費等の義務的経費が増加した一方で、コロナ禍からの景気回復による法人市民税の増や消費回復による地方消費税交付金の増、さらには「行財政改革方針 2025」に基づく取り組みを着実に進めたことなどから、財源対策によることなく、実質収支の黒字を確保した。

※　実質収支額10億3,700万円については、決算認定後、決算剰余金として財政調整基金に積立て、今後の市政運営に活用する予定。



（参考）款別歳入決算の構成比



「自主財源・依存財源」
財源の調達が自主的に行えるか否かによる財源の分類。自主財源の比率が高いほど、より自主的・自律的な財政運営が可能となる。

新型コロナウイルス感染症　各種相談窓口

新型コロナウイルス感染症が新たな変異株の発生により急拡大しています。感染を心配している方、発熱・せき等の症状のある方、後遺症に対する不安や悩みのある方は、下記の窓口にご相談ください。

◇新型コロナウイルス専用健康相談窓口
（土日祝を含む２４時間）
電話 **078-322-6250**

◇新型コロナワクチン副反応医療相談窓口
（２４時間）
電話 **078-252-7155**

◇救急安心センター＃7119（２４時間）
救急医療に関する相談対応　電話 **＃７１１９**

◇自宅療養者フォローアップセンター
（土日祝を含む２４時間）
無症状・低リスクの方の療養に関する相談や体調悪化時の相談対応

垂水区

8時45分～21時
電話 **078-322-6541**
電話 **078-322-5494**

21時～8時45分
電話 **078-708-5151**